

議員提出議案第2号

米国とイスラエルによるイランへの攻撃及びイランによる報復攻撃につき即時停戦を求める決議

上記の議案を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和8年3月24日

提出者	西東京市議会議員	小林	たつや
提出者	西東京市議会議員	稲垣	裕二
提出者	西東京市議会議員	保谷	なおみ
提出者	西東京市議会議員	酒井	ごう一郎
提出者	西東京市議会議員	坂井	かずひこ
提出者	西東京市議会議員	とみなが	ゆうじ
提出者	西東京市議会議員	中川	清志
提出者	西東京市議会議員	山田	忠良
提出者	西東京市議会議員	佐藤	大介
提出者	西東京市議会議員	大林	光昭
提出者	西東京市議会議員	藤田	美智子
提出者	西東京市議会議員	田代	伸之
提出者	西東京市議会議員	八矢	好美
提出者	西東京市議会議員	森	しんいち
提出者	西東京市議会議員	菅原	みほ

提出者 西東京市議会議員 千 間 いずみ

提出者 西東京市議会議員 大 竹 あつ子

提出者 西東京市議会議員 中 村 すぐる

提出者 西東京市議会議員 やまき 明 美

提出者 西東京市議会議員 後 藤 ゆう子

提出者 西東京市議会議員 かとう 涼 子

提出者 西東京市議会議員 山 崎 英 昭

提出者 西東京市議会議員 下 田 純 一

提出者 西東京市議会議員 納 田 さおり

提出者 西東京市議会議員 田 村 ひろゆき

提出者 西東京市議会議員 長 井 秀 和

米国とイスラエルによるイランへの攻撃及びイランによる報復攻撃につき即時停戦を求める決議

2026年2月28日に米国とイスラエルはイランに対して軍事攻撃を実施した。

これに対してイランはイスラエルと周辺諸国の米軍駐留基地や各施設に報復攻撃を行い、戦禍は中東全域を巻き込む大規模な紛争へと発展しつつある。

紛争開始から3週間が経過した現在、イランの国内を中心に民間人の犠牲者が生じており、世界の石油海上貿易量の20%以上が通過するホルムズ海峡をイランが事実上封鎖したことで、世界的なエネルギー危機が拡大している。

イランが高濃縮ウランを貯蔵し核施設への必要な査察を拒否してきたことに国際原子力機関（IAEA）は「深刻な懸念」を表明する一方、米国とイスラエルの軍事行動については国際法上の正当性を疑問視する声が上がっている。そして、国連安全保障理事会ではイランが近隣諸国に行った攻撃を非難する決議案を採択している。

西東京市は世界の恒久平和を願う市民の精神に基づき「西東京市平和推進に関する条例」を定め「西東京市非核・平和都市宣言」を行っており、このたびの紛争は本市の理念と相入れるものではない。

また、エネルギー供給の不安定化はさらなる物価高騰を招き、今後の国民・市民の生活に深刻な影響を与える懸念がある。

紛争当事国は即時停戦し、紛争は外交によって解決すべきであり、そのために本市議会は日本政府に事態の早期沈静化に向けて外交努力を尽くすよう求める。

以上、決議する。

令和8年3月27日

西東京市議会